

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	実践者シートの活用によりケアの内容の見直し等毎月確認し実行することが出来る様になったが、入居者の快適な生活のために、気づきやケアの質を高める必要がある	認知症の理解を深め、「その人らしいケア」を目指すため気づきを高める	ひもときシートや24時間シートの活用を学び活用することで気づきを高める	12ヶ月
2	2	立地状態や特養との隣接の問題も有り、地域とのつながりが薄い。	地域とのつながりが前年度よりも少しでも多く持てるように努力する	美里町の行事の情報を把握し活用する。サロンや縁側カフェなどの利用や参加を行う。又、3月より始まった傾聴ボランティアから地域へ発信して頂き地域とのかかわりを多くする	6ヶ月
3	35	災害対策において地元消防団に施設を見てもらった経緯はあるが、その後の展開はない	災害対策について地域資源を活用し指導や訓練を行い学ぶ。	原町・二和田地区の消防団の協力により、近隣の方も含め災害対策の取り組みを行う	6ヶ月
4	20	馴染の方や家族の関係の継続において関わりや面会が少ないご家族も有り、ご利用者の状態や生活の支援や取り組みなど伝えきれていない。	ご家族や顔なじみの方との関わりが多くなる。又、ご家族全員へ日頃の状態や支援の方法や取り組みを理解して頂く	入居者に関わる機会が多くなるような行事計画や関係や落ち着ける環境を作るように努力する。家族毎に連絡方法を考慮するなど柔軟な対応を心がける	12ヶ月
5	33	看取りケアの取り組みを行ったが、緊急時の対応や看取りの経験に差があり、不安なスタッフもいる	安心して緊急時の対応や看取りができるよう体制づくりや職員の自信をつける	看取りの振り返り、話し合いを行い次へ生かす。スタッフの不安や意識を共感し、互いに協力しあえる体制づくりを行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。